



# 「徳島県の徳島さん」になってみて

徳島実季

## 退任のご挨拶

令和3年4月に地域おこし協力隊の地域振興担当として任命され、この3月末をもって、退任いたします。3年間、私のことを自分の娘や孫のように接してくださった地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

## なぜ三好市へ？

私は生まれも育ちも横浜市です。しかし、幼少期から苗字に愛着があり、「徳島県の徳島さんになりたい」と思っていました。両親からの後押しもあり、移住を決定しました。徳島県の中でも三好市は四国初の手話言語条例を制定しており、学生時代に学んだ手話を活かせると思いました。

## 不安を溶かすあなたかき

人脈や土地勘に乏しい新天地で

表現する手話歌を企画しました。準備体操には、認知症予防も兼ねた指文字を取り入れました。参加者と楽しく脳に刺激を入れることができたと思います。

## 手話ダンス体験教室

吾橋小学校では、校歌を手話で歌う教室を行いました。休校してしまいう前に全校児童4人の心に残る思い出づくりが一緒にできたことを嬉しく思います。

## ラフティング体験会

中橋隊員と聴覚障がい者向けのラフティング体験会に挑戦しまし

た。チャレンジしたい人を後押しする一歩になったと思います。  
**多言語おもてなし汎用シート**  
リン隊員と外国人旅行者や聴覚障がい者向けのコミュニケーションシートを作成しました。飲食店などで、より正確に効率よく意思疎通できるようにシートを作成し、配布にも取り組みました。

## 情報発信 魅力発信

インスタグラムで移住者「とくみき」が見た景色を紹介しました。フォロワーは千人を越え、即効性や拡散性を活かした三好市の宣伝ができたと思います。

## 今後について

4月からは池田町にあるサテライトオフィス企業に勤務することになりました。今後ともよろしくお願ひします。



オレンジカフェで手話歌活動



Instagram (@tokumiki\_jjulは3月18日に削除予定)



市報掲載のミニ手話講座 今村手話通訳士指導のもと手話表現を担当 (写真は2023年11月のもの)

# 地域おこし協力隊 活動を終えて



## 川のように時は流れ

暴れ川三兄弟として恐れられてきた坂東太郎(利根川)、筑紫次郎(筑後川)、そして四国三郎(吉野川)。そんな暴れ川が流れる三好市に移住して4年。一年中ウオータースポーツが楽しめる！と邪な気持ちもありながら着任した協力隊でしたが、地域の皆さま、三好市職員の皆さまに助けられながら活動していく中で、改めて自身の「生き方」を考えることになるとは予想しておりませんでした。この場をお借りして多くの出会いに感謝申し上げます。そして、任期中に子どもが生まれることはさらに予想しておりませんでした。名前は四国三郎にちなんで三郎と命名しました。この市報が出るころに生まれ、存分に暴れながら元気に育つていくと思います。

## 立ちほだかる壁に悩む

自身の活動を振り返ると、任期中1年目は週末のウオータースポーツ体験会等を通して楽しさを感じてもらった活動を主として行いました。2年目は地域の他団体と連携しながらウオータースポーツの間



ラフティング大会、レース前のミーティング



プールでの水上上映会



名頃のカカシもボートにライドオン



水難救助隊を招いての水辺の安全講習

口を広げ、3年目はラフティング大会等を企画運営し地域外から人を呼ぶことに注力しました。4年目は教育、水辺の安全啓発とラフティングを絡めた社会貢献活動を行いました。

4年間の活動を通して感じたのは「認知」の壁です。世の中でラフティングやウオータースポーツはあくまで娯楽であり余暇を楽しむもので、日常生活に必要なものではないかもしれません。そんな認識からどうにか馴染みあるものに変えようと試行錯誤した4年間は非常に楽しくもあり、反省の日々でもありました。

## 目指す社会の実現のために

活動中いろいろと悩まされた「認知」の壁ですが、最近解決の糸口が見つかってきました。こ

れもひとえに任期中、多くの方にご協力いただき、その中で経験と学びをいただいたからです。

これからは、挑戦し可能性を広げる場を作り、誰もが手を差し伸べることのできる社会をラフティングを通じて、目指していきます。それが実現できる環境と人材が三好市にはあります。今後は三好市を拠点としながらウオータースポーツを核とした挑戦と活躍の場づくりを地域内外で進めていきたいと考えています。皆さまと共に過ごしてきた4年間は私にとって貴重な人生の一部となり、新しい夢と希望を与えてくれました。これからも皆さまとのご縁を大切にして頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました！

## 活動を終えて

中橋啓太

